

2026年度／単年度計画

✈ 基本的な考え方

「安全安心な空港づくりを通じて 皆さまに笑顔と満足をお届けします」

厳しい外部環境の中であっても安全・安心な空港運営を継続するとともに、静岡県や空港関係者との連携により航空ネットワーク・空港利用者の早期回復を実現し、空港の持続的な成長に向けた施策を実行する。

- (1) 航空需要・航空ネットワークの回復や拡大の促進
- (2) 空港利用者の増加と利用者満足度の向上
- (3) 直営部門等の収益性向上
- (4) 社会インフラたる空港機能の維持向上
- (5) 社会的要請への対応や将来に向けた投資の見直し検討
- (6) 持続的な経営のための会社各機能強化

✈ 旅客数等の目標値

| 区分 | 2025年度 (見込) | 2026年度 (計画) |
|--------------|----------------|----------------|
| 旅客数 | 70万人 | 70万人 |
| 国内線 | 44万人 | 35万人 |
| 国際線 | 25万人 | 35万人 |
| 貨物取扱量 | 221t | 130t |
| 国内線 | 88t | 49t |
| 国際線 | 133t | 81t |



2026年夏ダイヤ就航路線図 (2026年3月末時点)

✈️ 空港活性化に関する計画

旅客数及び貨物取扱量の増加

- 復便及び新規路線就航に向けた活動
 - ・ 運休予定路線の早期回復に向けた国内航空会社への営業強化
 - ・ 新規就航路線のスムーズな就航に向けた受入調整および早期安定化に資する周知プロモーション・利用促進策の実施
- 搭乗率を向上するための活動
 - ・ 駐車場割引キャンペーンの実施や地元メディアとの連携等によるキャッチメントエリアの拡大・深耕（県東部・県西部・山梨県など）
- 料金体制の整備
 - ・ 駐車場のリニューアルに合わせた駐車料金の改定
- 二次交通の維持・強化
 - ・ アクセスバス金谷線の運行本数の維持（28便/日）
- 貨物取扱量の増加に向けた活動



新規就航路線の
プロモーション画像



駐車場割引
キャンペーン



リニューアルする駐車場

入館者数の増加・ビジネスジェット等の利用拡大

- ターミナルビル入館者数の増加
 - ・ 年間を通じ、規模、期間、ターゲットなどの異なる多様なイベントの実施（17周年祭、空の日、富士山の日等）
- BJ等の利用拡大
 - ・ 県が策定する戦略を踏まえた施策検討

空港利用者の利便性向上

- ストレスのない空港滞在時間の実現
 - ・ ターミナルビルキャパシティ確保に向けた改修方針の検討
 - ・ 手荷物宅配や一時預かり機能の導入による手ぶら観光の推進



手ぶら観光のイメージ

地域連携事業

- ・ 県内観光資源や空港資源を活用した旅行商品やイベントの造成
- ・ 空港見学ツアー等の開催を通じた空港への関心醸成と将来利用への転換
- ・ 県内の自治体・DMOや地域企業と連携した地域観光資源等の情報発信の継続実施



県内観光資源を活用した
旅行商品の造成

任意事業

- 西側用地の利活用に関する見直し検討
 - ・ 社会環境の変化や県との協議を踏まえた事業計画の変更検討
 - ・ ホテル事業の実現に向けた事業者の誘致と事業スキーム等の検討
- カーボンニュートラルに向けた取り組み
 - ・ 空港脱炭素化推進計画を踏まえた具体施策の検討

✈ 空港運用に関する計画

安全・安心の確保

- 安全管理体制の確保を目的とした安全推進部署の継続設置
- 国際線の早期復便・就航を可能とする効率的かつ安全な保安体制の構築
- 保安検査実施主体変更に係る情報収集
- 国際線SRAの規制強化への適切な対応
- 緊急時の適切な対応を目的とした空港運用監視体制の強化
- 航空法や航空局の指針に基づく規程・要領等の適切な見直し
- 自然災害の激甚化を踏まえた適切な対応および必要に応じたマニュアル等の見直し



A2-BCP（滞留者対応）訓練



自然災害に備えた訓練

運営の効率化

- 県との協議結果を踏まえた、LED 航空灯火導入に向けたロードマップの策定
- 複数発注業務の一元化等による業務の合理化
- ロボット等を活用した清掃業務の省力化
- キャッシュレス決済サービス等の導入による各種料金徴収の効率化検討



自動清掃ロボット



仮復旧工事中の排水施設

施設の長寿命化及び更新投資の効率化

- 県との協議を踏まえた被災箇所の早期復旧
- 灯火監視制御装置の更新等、中長期更新計画に基づく予防的な設備投資の着実な実施
- 最新状況を踏まえた、中長期的な更新投資や修繕に関する計画の見直し着手